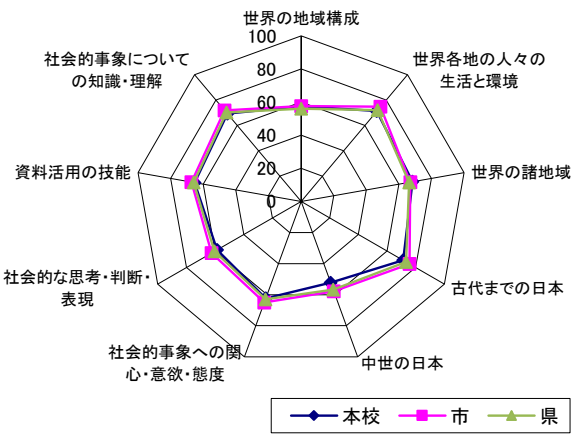


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	世界の地域構成	57.5	57.6	56.0
	世界各地の人々の生活と環境	71.2	74.6	71.9
	世界の諸地域	68.4	67.0	66.3
	古代までの日本	71.2	75.7	73.3
	中世の日本	52.3	57.9	56.7
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	62.4	65.0	63.0
	社会的な思考・判断・表現	58.6	62.5	60.5
	資料活用・技能	65.3	67.2	65.9
	社会的事象についての知識・理解	69.3	71.8	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	○世界の地域構成の領域では、県の平均を1.5ポイント上回っている。 ○世界の地域区分を理解する問題では、県の平均を5.1ポイント上回っている。 ●緯線と経線が直角に交わる地図について、その特色を把握する問題では、県の平均を0.9ポイント下回っている。	・地図の特色を把握する問題について、「緯線と経線が直角に交わった地図」、「中心からの距離と方位が正しい地図」、「面積が正しい地図」それぞれの目的・活用方法を地図を使って復習し、多くの問題に取り組ませることで理解を深めさせる。
世界各地の人々の生活と環境	世界各地の人々の生活環境の領域では、県の平均とほぼ同じである。 ○世界各地の生活の様子について、自然環境と関連づけて把握する問題では、県の平均を8.3ポイント上回っている。 ●雨温図をもとに、世界各地の気候帯について判断する問題では、県の平均を3.9ポイント下回っている。	・雨温図をもとに、世界各地の気候帯について判断する問題について、地球儀、地図等を活用し、気候区分・都市の位置・雨温図と関連させながら、学習を進める。
世界の諸地域	○世界の諸地域の領域では、県の平均を2.1ポイント上回っている。 ○世界各州の地形を理解する問題では、県の平均を7.3ポイント上回っている。 ●西アジアや中央アジアの産業について、資料をもとに把握する問題では、県の平均を4.5ポイント下回っている。	・各地域の産業を資料をもとに把握する問題について、地図を活用し、各地域の重要な産業を理解させるとともに、気候区分と合わせて理解を深めさせる。
古代までの日本	●古代までの日本の領域では、県の平均を2.1ポイント下回っている。特に、打製石器の役割を理解する問題では、県の平均を6.4ポイント下回っている。	・打製石器の役割を理解する問題について、資料を活用し、使用時期と関連させて、使用目的や特徴を考察する学習を通して、理解を深めさせる。
中世の日本	●中世の日本の領域では、県の平均を4.4ポイント下回っている。特に、室町時代における、東アジア諸国との交流について把握する問題では、県の平均を6.3ポイント下回っている。	・室町時代における、東アジア諸国との交流について把握する問題について、年表を活用し、日本と東アジア諸国の横のつながりをもたせ、大きな流れで歴史を理解できるように学習を進めさせる。